

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書		
高等部 第2学年 職業コース	作業学習 カフェ・ショップサービス (前期・後期)			
目標	<p>(知) 職業生活に必要な知識と技術を身に付け、作業の確実性や持続性、技巧性が高まる。</p> <p>(思) 自分の適切な役割を見だし、作業上の安全や衛生及び作業効率について考えたり、友達や先輩、後輩と協働して行ったりして、自分の成長や課題について考え、表現したり、改善を図ったりすることができる。</p> <p>(学) 作業や生産活動を通して、貢献する喜びを感じ、計画性をもって主体的に行おうとする態度を養う。</p>			
期	単元名・指導内容	単元目標	授業形態	時数
1 学期	「給食配膳・清掃(1)」	(知) 配膳や清掃の手順や流れについて理解し、見通しをもって活動することができる。 (思) 自分が行う活動を選択したり、見だしたりしながら、集団の中で自分から活動することができる。 (学) 友達や先輩、後輩と協力し、効率を考えながら、主体的に行おうとする態度を養う。	コース 縦割り グループ	39
	「オリエンテーション(1)(2)」	(知) カフェ・ショップサービスの作業の流れについて知り、活動に見通しをもつことができる。 (思) 集団の中で自分の役割について理解し、先輩や後輩への言葉掛けや関わり方について考え、自分の目標を意識して活動することができる。 (学) 後輩を思いやり、一緒に活動する友達や先輩、後輩と協力し合って活動をやり遂げようとする態度を養う。		4
	「販売するメニューを考えよう(1)」【校外学習】 ・学校近隣の店の見学(スーパーマーケット、食堂など) ・『カフェ』運営に向けた取組(メニューの開発・検討、使用物品の検討・発注、買い出し、調理、片付け、振り返り、役割練習など)	(知) 販売するメニューや業務内容について理解し、調理するメニューや手順などに関する技術を身に付ける。 (思) 顧客のニーズに合わせたメニューの販売やサービスの提供をするために、工夫したり、考えたりすることができる。 (学) メニュー開発や発注業務、販売業務を主体的・協働的に行おうとする態度を養う。		70
	「販売する商品を考えよう(1)」【校外学習】 ・『ショップ』運営に向けた取組(販売商品の検討・仕分け・発注・仕入れ、販売商品の製作、役割練習など)	(知) 販売する商品や業務内容について理解し、製作する商品や販売の手順などに関する技術を身に付ける。 (思) 顧客のニーズに合わせた商品の販売やサービスの提供をするために、工夫したり、考えたりすることができる。 (学) 商品製作や発注業務、販売業務を主体的・協働的に行おうとする態度を養う。		30
	「請負作業(1)」 ・用紙やインクなどの管理 ・自動販売機の管理 ・名刺作成	(知) 依頼された仕事の内容を理解し、身に付けてきた知識や技術を活用して実践することができる。 (思) 自分から手順を考えたり、確認したりしながら、主体的に作業を進めていくことができる。 (学) 依頼者からの依頼どおりに作業を遂行したり、責任感をもって作業を行ったりしようとする態度を養う。		24
	「活動を振り返ろう(1)」	(知) 自分が習得できた技術や目標の達成度、今後の課題について振り返ることができる。 (思) 自分の成果と課題をまとめ、表現することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後に生かそうとする態度を養う。		2
1学期授業時数				169
2 学期	「給食配膳・清掃(2)」	(知) 配膳や清掃の手順や流れについて理解し、見通しをもって活動することができる。 (思) 自分が行う活動を選択したり、見だしたりしながら、集団の中で自分から活動することができる。 (学) 友達や先輩、後輩と協力し、効率を考えながら、主体的に行おうとする態度を養う。	コース 縦割り グループ	45
	「オリエンテーション(3)」	(知) カフェ・ショップサービスの作業の流れについて知り、活動に見通しをもつことができる。 (思) 集団の中で自分の役割について理解し、先輩や後輩への言葉掛けや関わり方について考え、自分の目標を意識して活動することができる。 (学) 後輩を思いやり、一緒に活動する友達や先輩、後輩と協力し合って活動をやり遂げようとする態度を養う。		2
	「販売するメニューを考えよう(2)」【校外学習】 ・学校近隣の店の見学(スーパーマーケット、食堂など) ・『カフェ』運営に向けた取組(メニューの開発・検討、使用物品の検討・発注、買い出し、調理、片付け、振り返り、役割練習など)	(知) 販売するメニューや業務内容について理解し、調理するメニューや手順などに関する技術を身に付ける。 (思) 顧客のニーズに合わせたメニューの販売やサービスの提供をために、工夫したり、考えたりすることができる。 (学) メニュー開発や発注業務、販売業務を主体的・協働的に行おうとする態度を養う。		60
	「販売する商品を考えよう(2)」【校外学習】 ・『ショップ』運営に向けた取組(販売商品の検討・仕分け・発注・仕入れ、販売商品の製作、役割練習など)	(知) 販売する商品や業務内容について理解し、製作する商品や販売の手順などに関する技術を身に付ける。 (思) 顧客のニーズに合わせた商品の販売やサービスの提供をために、工夫したり、考えたりすることができる。 (学) 商品製作や発注業務、販売業務を主体的・協働的に行おうとする態度を養う。		25
	「請負作業(2)」 ・用紙やインクなどの管理 ・自動販売機の管理 ・名刺作成	(知) 依頼された仕事の内容を理解し、身に付けてきた知識や技術を活用して実践することができる。 (思) 自分から手順を考えたり、確認したりしながら、主体的に作業を進めていくことができる。 (学) 依頼者からの依頼どおりに作業を遂行したり、責任感をもって作業を行ったりしようとする態度を養う。		16
	「カフェ・ショップを運営しよう(1)」	(知) 販売・調理の方法や手順について理解し、自分の役割を果たすことができる。 (思) 販売をするときの接客方法や効率の良い調理方法について考え、実践することができる。 (学) お客様のことを意識しながら、接客や販売、調理をしようとする態度を養う。		18
	「文化祭の『出店』を成功させよう」 ・『出店』の概要説明 ・『出店』運営に向けた取組(店名決め、役割分担、使用物品の制作、役割練習など) ・『出店』の運営	(知) 出店の内容を理解し、出店することができる。 (思) 出店の内容や役割、準備物を考えることができる。 (学) 出店の運営に対して、主体的に行おうとする態度を養う。		25
	「活動を振り返ろう(2)(3)」	(知) 自分が習得できた技術や目標の達成度、今後の課題について振り返ることができる。 (思) 自分の成果と課題をまとめ、表現することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後に生かそうとする態度を養う。		4
2学期授業時数				195
3 学期	「給食配膳・清掃(3)」	(知) 配膳や清掃の手順や流れについて理解し、見通しをもって活動することができる。 (思) 自分が行う活動を選択したり、見だしたりしながら、集団の中で自分から活動することができる。 (学) 友達や先輩、後輩と協力し、効率を考えながら、主体的に行おうとする態度を養う。	コース 縦割り グループ	21
	「オリエンテーション(4)」	(知) カフェ・ショップサービスの作業の流れについて知り、活動に見通しをもつことができる。 (思) 集団の中で自分の役割について理解し、先輩や後輩への言葉掛けや関わり方について考え、自分の目標を意識して活動することができる。 (学) 後輩を思いやり、一緒に活動する友達や先輩、後輩と協力し合って活動をやり遂げようとする態度を養う。		2
	「販売するメニューを考えよう(3)」【校外学習】 ・学校近隣の店の見学(スーパーマーケット、食堂など) ・『カフェ』運営に向けた取組(メニューの開発・検討、使用物品の検討・発注、買い出し、調理、片付け、振り返り、役割練習など)	(知) 販売するメニューや業務内容について理解し、調理するメニューや手順などに関する技術を身に付ける。 (思) 顧客のニーズに合わせたメニューの販売やサービスの提供をために、工夫したり、考えたりすることができる。 (学) メニュー開発や発注業務、販売業務を主体的・協働的に行おうとする態度を養う。		30
	「販売する商品を考えよう(3)」【校外学習】 ・『ショップ』運営に向けた取組(販売商品の検討・仕分け・発注・仕入れ、販売商品の製作、役割練習など)	(知) 販売する商品や業務内容について理解し、製作する商品や販売の手順などに関する技術を身に付ける。 (思) 顧客のニーズに合わせた商品の販売やサービスの提供をために、工夫したり、考えたりすることができる。 (学) 商品製作や発注業務、販売業務を主体的・協働的に行おうとする態度を養う。		12
	「請負作業(3)」 ・用紙やインクなどの管理 ・自動販売機の管理 ・名刺作成	(知) 依頼された仕事の内容を理解し、身に付けてきた知識や技術を活用して実践することができる。 (思) 自分から手順を考えたり、確認したりしながら、主体的に作業を進めていくことができる。 (学) 依頼者からの依頼どおりに作業を遂行したり、責任感をもって作業を行ったりしようとする態度を養う。		9
	「カフェ・ショップを運営しよう(2)」	(知) 販売・調理の方法や手順について理解し、自分の役割を果たすことができる。 (思) 販売をするときの接客方法や効率の良い調理方法について考え、実践することができる。 (学) お客様のことを意識しながら、接客や販売、調理をしようとする態度を養う。		15
	「活動を振り返ろう(4)」	(知) 自分が習得できた技術や目標の達成度、今後の課題について振り返ることができる。 (思) 自分の成果と課題をまとめ、表現することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後に生かそうとする態度を養う。		2
3学期授業時数				91
総授業時数				455

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書		
高等部 第2学年 職業コース	作業学習 クリーニングサービス (前期・後期)			
目標	<p>(知) 職業生活に必要な知識と技術を身に付け、作業の確実性や持続性、技巧性が高まる。</p> <p>(思) 自分の適切な役割を見だし、作業上の安全や衛生及び作業効率について考えたり、友達や先輩、後輩と協働して行ったりして、自分の成長や課題について考え、表現したり、改善を図ったりすることができる。</p> <p>(学) 作業や生産活動を通して、貢献する喜びを感じ、計画性をもって主体的に行おうとする態度を養う。</p>			
期	単元名・指導内容	単元目標	授業形態	時数
1 学 期	「給食配膳・清掃(1)」	(知) 配膳や清掃の手順や流れについて理解し、見直しをもって活動することができる。 (思) 自分が行う活動を選択したり、見だしたりしながら、集団の中で自分から活動することができる。 (学) 友達や先輩、後輩と協力し、効率を考えながら、主体的に行おうとする態度を養う。	コース 縦割り グループ	39
	「オリエンテーション(1)(2)」	(知) クリーニングサービスの作業の流れについて知り、活動に見直しをもつことができる。 (思) 集団の中で自分の役割について理解し、先輩や後輩への言葉掛けや関わり方について考え、自分の目標を意識して活動することができる。 (学) 後輩を思いやり、一緒に活動する友達や先輩、後輩と協力し合って活動をやり遂げようとする態度を養う。		4
	「クリーニングの技術を向上させよう(1)」 ・エプロン・カッターシャツ・はっぴ・ゼッケンなどのクリーニング	(知) エプロンの仕分け作業、本洗・乾燥作業、アイロン掛け作業、たたみ・包装作業に必要な技術や道具の扱い方について理解し、作業の中で丁寧に、正確に行うことができる。 (思) 作業を正確に行うためのポイントを意識しながら、主体的に行うことができる。 (学) 技術の向上に向け、繰り返し作業を行おうとする態度を養う。		120
	「カッターシャツのクリーニング技術を向上させよう(1)」 ・社会人講師による指導	(知) カッターシャツのアイロンの仕方やのり付けの仕方などについて理解し、作業を行うことができる。 (思) 作業を正確に行うためのポイントを意識しながら、主体的に行うことができる。 (学) 技術の向上に向け、繰り返し作業を行おうとする態度を養う。		4
	「活動を振り返ろう(1)」	(知) 自分が習得できた技術や目標の達成度、今後の課題について振り返ることができる。 (思) 自分の成果と課題をまとめ、表現することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後に生かそうとする態度を養う。		2
1学期授業時数				169
2 学 期	「給食配膳・清掃(2)」	(知) 配膳や清掃の手順や流れについて理解し、見直しをもって活動することができる。 (思) 自分が行う活動を選択したり、見だしたりしながら、集団の中で自分から活動することができる。 (学) 友達や先輩、後輩と協力し、効率を考えながら、主体的に行おうとする態度を養う。	コース 縦割り グループ	45
	「オリエンテーション(3)」	(知) クリーニングサービスの作業の流れについて知り、活動に見直しをもつことができる。 (思) 集団の中で自分の役割について理解し、先輩や後輩への言葉掛けや関わり方について考え、自分の目標を意識して活動することができる。 (学) 後輩を思いやり、一緒に活動する友達や先輩、後輩と協力し合って活動をやり遂げようとする態度を養う。		2
	「クリーニングの技術を向上させよう(2)」 ・エプロン・カッターシャツ・はっぴ・ゼッケンなどのクリーニング	(知) エプロンの仕分け作業、本洗・乾燥作業、アイロン掛け作業、たたみ・包装作業に必要な技術や道具の扱い方について理解し、作業の中で丁寧に、正確に行うことができる。 (思) 作業を正確に行うためのポイントを意識しながら、主体的に行うことができる。 (学) 技術の向上に向け、繰り返し作業を行おうとする態度を養う。		117
	「カッターシャツのクリーニング技術を向上させよう(2)」 ・社会人講師による指導	(知) カッターシャツのアイロンの仕方やのり付けの仕方などについて理解し、作業を行うことができる。 (思) 作業を正確に行うためのポイントを意識しながら、主体的に行うことができる。 (学) 技術の向上に向け、繰り返し作業を行おうとする態度を養う。		2
	「文化祭の『出店』を成功させよう」 ・『出店』の概要説明 ・『出店』運営に向けた取組(店名決め、役割分担、使用物品の制作、役割練習など)	(知) 出店の内容を理解し、出店することができる。 (思) 出店の内容や役割、準備物を考えることができる。 (学) 出店の運営に対して、主体的に行おうとする態度を養う。		25
「活動を振り返ろう(2)(3)」	(知) 自分が習得できた技術や目標の達成度、今後の課題について振り返ることができる。 (思) 自分の成果と課題をまとめ、表現することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後に生かそうとする態度を養う。	4		
2学期授業時数				195
3 学 期	「給食配膳・清掃(3)」	(知) 配膳や清掃の手順や流れについて理解し、見直しをもって活動することができる。 (思) 自分が行う活動を選択したり、見だしたりしながら、集団の中で自分から活動することができる。 (学) 友達や先輩、後輩と協力し、効率を考えながら、主体的に行おうとする態度を養う。	コース 縦割り グループ	21
	「オリエンテーション(4)」	(知) クリーニングサービスの作業の流れについて知り、活動に見直しをもつことができる。 (思) 集団の中で自分の役割について理解し、先輩や後輩への言葉掛けや関わり方について考え、自分の目標を意識して活動することができる。 (学) 後輩を思いやり、一緒に活動する友達や先輩、後輩と協力し合って活動をやり遂げようとする態度を養う。		2
	「クリーニングの技術を向上させよう(3)」 ・エプロン・カッターシャツ・はっぴ・ゼッケンなどのクリーニング	(知) エプロンの仕分け作業、本洗・乾燥作業、アイロン掛け作業、たたみ・包装作業に必要な技術や道具の扱い方について理解し、作業の中で丁寧に、正確に行うことができる。 (思) 作業を正確に行うためのポイントを意識しながら、主体的に行うことができる。 (学) 技術の向上に向け、繰り返し作業を行おうとする態度を養う。		64
	「カッターシャツのクリーニング技術を向上させよう(3)」 ・社会人講師による指導	(知) カッターシャツのアイロンの仕方やのり付けの仕方などについて理解し、作業を行うことができる。 (思) 作業を正確に行うためのポイントを意識しながら、主体的に行うことができる。 (学) 技術の向上に向け、繰り返し作業を行おうとする態度を養う。		2
	「活動を振り返ろう(4)」	(知) 自分が習得できた技術や目標の達成度、今後の課題について振り返ることができる。 (思) 自分の成果と課題をまとめ、表現することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後に生かそうとする態度を養う。		2
3学期授業時数				91
総授業時数				455

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書		
高等部 第2学年 職業コース	作業学習 ビルメンテナンスサービス (前期・後期)			
目標	<p>(知) 職業生活に必要な知識と技術を身に付け、作業の確実性や持続性、技巧性が高まる。</p> <p>(思) 自分の適切な役割を見だし、作業上の安全や衛生及び作業効率について考えたり、友達や先輩、後輩と協働して行ったりして、自分の成長や課題について考え、表現したり、改善を図ったりすることができる。</p> <p>(学) 作業や生産活動を通して、貢献する喜びを感じ、計画性をもって主体的に行おうとする態度を養う。</p>			
期	単元名・指導内容	単元目標	授業形態	時数
1 学期	「給食配膳・清掃(1)」	(知) 配膳や清掃の手順や流れについて理解し、見直しをもって活動することができる。 (思) 自分が行う活動を選択したり、見いだしたりしながら、集団の中で自分から活動することができる。 (学) 友達や先輩、後輩と協力し、効率を考えながら、主体的に行おうとする態度を養う。	コース 縦割り グループ	39
	「オリエンテーション(1)(2)」	(知) ビルメンテナンスサービスの作業の流れについて知り、活動に見直しをもつことができる。 (思) 集団の中で自分の役割について理解し、先輩や後輩への言葉掛けや関わり方について考え、自分の目標を意識して活動することができる。 (学) 後輩を思いやり、一緒に活動する友達や先輩、後輩と協力し合って活動をやり遂げようとする態度を養う。		4
	「清掃の手順を教えよう(1)」	(知) 清掃場所に応じた清掃手順や道具の使い方について、後輩に教えることができる。 (思) 作業を効率的に行うための手順や方法を考えることができる。 (学) 友達や先輩、後輩と協力したり、後輩を助けたりしながら、作業を行おうとする態度を養う。		35
	「校内清掃をしよう(1)」 ・廊下・教室・窓ガラスなどの清掃 ・洗車 ・自転車清掃	(知) 自在ぼうきやタオル、ダスタークロスやモップ、スクイージーやスポンジなどの正しい扱い方を身に付け、丁寧に清掃することができる。 (思) 清掃場所について相談して決めたり、工夫したりして、清掃することができる。 (学) 清掃を通して、学校に貢献する喜びを感じ、主体的・協働的に清掃を行おうとする態度を養う。		84
	「校外清掃をしよう(1)」【校外学習】	(知) 清掃場所に応じた道具とその扱い方について理解し、丁寧に清掃することができる。 (思) 清掃の手順や分担について相談して決めたり、工夫したりして清掃することができる。 (学) 清掃を通して、地域に貢献する喜びを感じ、主体的・協働的に清掃を行おうとする態度を養う。		5
	「活動を振り返ろう(1)」	(知) 自分が習得できた技術や目標の達成度、今後の課題について振り返ることができる。 (思) 自分の成果と課題をまとめ、表現することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後に生かそうとする態度を養う。		2
1学期授業時数				169
2 学期	「給食配膳・清掃(2)」	(知) 配膳や清掃の手順や流れについて理解し、見直しをもって活動することができる。 (思) 自分が行う活動を選択したり、見いだしたりしながら、集団の中で自分から活動することができる。 (学) 友達や先輩、後輩と協力し、効率を考えながら、主体的に行おうとする態度を養う。	コース 縦割り グループ	45
	「オリエンテーション(3)」	(知) ビルメンテナンスサービスの作業の流れについて知り、活動に見直しをもつことができる。 (思) 集団の中で自分の役割について理解し、先輩や後輩への言葉掛けや関わり方について考え、自分の目標を意識して活動することができる。 (学) 後輩を思いやり、一緒に活動する友達や先輩、後輩と協力し合って活動をやり遂げようとする態度を養う。		2
	「清掃の手順を教えよう(2)」	(知) 清掃場所に応じた清掃手順や道具の使い方について、後輩に教えることができる。 (思) 作業を効率的に行うための手順や方法を考えることができる。 (学) 友達や先輩、後輩と協力したり、後輩を助けたりしながら、作業を行おうとする態度を養う。		24
	「校内清掃をしよう(2)」 ・廊下・教室・窓等の清掃 ・洗車 ・自転車清掃	(知) 自在ぼうきやタオル、ダスタークロスやモップ、スクイージーやスポンジなどの正しい扱い方を身に付け、丁寧に清掃することができる。 (思) 清掃場所について相談して決めたり、工夫したりして、清掃することができる。 (学) 清掃を通して、学校に貢献する喜びを感じ、主体的・協働的に清掃を行おうとする態度を養う。		85
	「校外清掃をしよう(2)」【校外学習】	(知) 清掃場所に応じた道具とその扱い方について理解し、丁寧に清掃することができる。 (思) 清掃の手順や分担について相談して決めたり、工夫したりして清掃することができる。 (学) 清掃を通して、地域に貢献する喜びを感じ、主体的・協働的に清掃を行おうとする態度を養う。		10
	「文化祭の『出店』を成功させよう」 ・『出店』の概要説明 ・『出店』運営に向けた取組(店名決め、役割分担、使用物品の制作、役割練習など)	(知) 出店の内容を理解し、出店することができる。 (思) 出店の内容や役割、準備物を考えることができる。 (学) 出店の運営に対して、主体的に行おうとする態度を養う。		25
	「活動を振り返ろう(2)(3)」	(知) 自分が習得できた技術や目標の達成度、今後の課題について振り返ることができる。 (思) 自分の成果と課題をまとめ、表現することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後に生かそうとする態度を養う。		4
2学期授業時数				195
3 学期	「給食配膳・清掃(3)」	(知) 配膳や清掃の手順や流れについて理解し、見直しをもって活動することができる。 (思) 自分が行う活動を選択したり、見いだしたりしながら、集団の中で自分から活動することができる。 (学) 友達や先輩、後輩と協力し、効率を考えながら、主体的に行おうとする態度を養う。	コース 縦割り グループ	21
	「オリエンテーション(4)」	(知) ビルメンテナンスサービスの作業の流れについて知り、活動に見直しをもつことができる。 (思) 集団の中で自分の役割について理解し、先輩や後輩への言葉掛けや関わり方について考え、自分の目標を意識して活動することができる。 (学) 後輩を思いやり、一緒に活動する友達や先輩、後輩と協力し合って活動をやり遂げようとする態度を養う。		2
	「清掃の手順を教えよう(3)」	(知) 清掃場所に応じた清掃手順や道具の使い方について、後輩に教えることができる。 (思) 作業を効率的に行うための手順や方法を考えることができる。 (学) 友達や先輩、後輩と協力したり、後輩を助けたりしながら、作業を行おうとする態度を養う。		15
	「校内清掃をしよう(3)」 ・廊下・教室・窓等の清掃 ・洗車 ・自転車清掃	(知) 自在ぼうきやタオル、ダスタークロスやモップ、スクイージーやスポンジなどの正しい扱い方を身に付け、丁寧に清掃することができる。 (思) 清掃場所について相談して決めたり、工夫したりして、清掃することができる。 (学) 清掃を通して、学校に貢献する喜びを感じ、主体的・協働的に清掃を行おうとする態度を養う。		46
	「校外清掃をしよう(3)」【校外学習】	(知) 清掃場所に応じた道具とその扱い方について理解し、丁寧に清掃することができる。 (思) 清掃の手順や分担について相談して決めたり、工夫したりして清掃することができる。 (学) 清掃を通して、地域に貢献する喜びを感じ、主体的・協働的に清掃を行おうとする態度を養う。		5
	「活動を振り返ろう(4)」	(知) 自分が習得できた技術や目標の達成度、今後の課題について振り返ることができる。 (思) 自分の成果と課題をまとめ、表現することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後に生かそうとする態度を養う。		2
3学期授業時数				91
総授業時数				455

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書		
高等部 第2学年 職業コース	作業学習 フードサービス (前期・後期)			
目標	<p>(知) 職業生活に必要な知識と技術を身に付け、作業の確実性や持続性、技巧性が高まる。</p> <p>(思) 自分の適切な役割を見だし、作業上の安全や衛生及び作業効率について考えたり、友達や先輩、後輩と協働して行ったりして、自分の成長や課題について考え、表現したり、改善を図ったりすることができる。</p> <p>(学) 作業や生産活動を通して、貢献する喜びを感じ、計画性をもって主体的に行おうとする態度を養う。</p>			
期	単元名・指導内容	単元目標	授業形態	時数
1 学期	「給食配膳・清掃(1)」	(知) 配膳や清掃の手順や流れについて理解し、見通しをもって活動することができる。 (思) 自分が行う活動を選択したり、見だししたりしながら、集団の中で自分から活動することができる。 (学) 友達や先輩、後輩と協力し、効率を考えながら、主体的に行おうとする態度を養う。	コース 縦割り グループ	39
	「オリエンテーション(1)(2)」	(知) フードサービスの作業の流れについて知り、活動に見通しをもつことができる。 (思) 集団の中で自分の役割について理解し、先輩や後輩への言葉掛けや関わり方について考え、自分の目標を意識して活動することができる。 (学) 後輩を思いやり、一緒に活動する友達や先輩、後輩と協力し合って活動をやり遂げようとする態度を養う。		4
	「パン作りをしよう(1)」	(知) 道具を正確に扱い、丁寧さを保ちつつ、技術やスピードの向上を図ることができる。 (思) 自分の役割を理解し、全体を見て必要な道具を準備したり、正確に作業をするためのポイントを確認したりしながら、作業を行うことができる。 (学) お客様に買っていただくことを意識しながら、衛生面や丁寧さを意識して作業を行おうとする態度を養う。		96
	「販売をしよう(1)」【校外学習】 ・校内・校外販売	(知) 販売の方法や手順について理解し、自分の役割を果たすことができる。 (思) 販売をするときの接客方法について考え、実践することができる。 (学) お客様のことを意識しながら、接客や販売をしようとする態度を養う。		28
	「活動を振り返ろう(1)」	(知) 自分が習得できた技術や目標の達成度、今後の課題について振り返ることができる。 (思) 自分の成果と課題をまとめ、表現することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後に生かそうとする態度を養う。		2
1学期授業時数				169
2 学期	「給食配膳・清掃(2)」	(知) 配膳や清掃の手順や流れについて理解し、見通しをもって活動することができる。 (思) 自分が行う活動を選択したり、見だししたりしながら、集団の中で自分から活動することができる。 (学) 友達や先輩、後輩と協力し、効率を考えながら、主体的に行おうとする態度を養う。	コース 縦割り グループ	45
	「オリエンテーション(3)」	(知) フードサービスの作業の流れについて知り、活動に見通しをもつことができる。 (思) 集団の中で自分の役割について理解し、先輩や後輩への言葉掛けや関わり方について考え、自分の目標を意識して活動することができる。 (学) 後輩を思いやり、一緒に活動する友達や先輩、後輩と協力し合って活動をやり遂げようとする態度を養う。		2
	「パン作りをしよう(2)」	(知) 道具を正確に扱い、丁寧さを保ちつつ、技術やスピードの向上を図ることができる。 (思) 自分の役割を理解し、全体を見て必要な道具を準備したり、正確に作業をするためのポイントを確認したりしながら、作業を行うことができる。 (学) お客様に買っていただくことを意識しながら、衛生面や丁寧さを意識して作業を行おうとする態度を養う。		85
	「販売をしよう(2)」【校外学習】 ・校内・校外販売	(知) 販売の方法や手順について理解し、自分の役割を果たすことができる。 (思) 販売をするときの接客方法について考え、実践することができる。 (学) お客様のことを意識しながら、接客や販売をしようとする態度を養う。		34
	「文化祭の『出店』を成功させよう」 ・『出店』の概要説明 ・『出店』運営に向けた取組(店名決め、 役割分担、使用物品の制作、役割練習など)	(知) 出店の内容を理解し、出店することができる。 (思) 出店の内容や役割、準備物を考えることができる。 (学) 出店の運営に対して、主体的に行おうとする態度を養う。		25
	「活動を振り返ろう(2)(3)」	(知) 自分が習得できた技術や目標の達成度、今後の課題について振り返ることができる。 (思) 自分の成果と課題をまとめ、表現することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後に生かそうとする態度を養う。		4
2学期授業時数				195
3 学期	「給食配膳・清掃(3)」	(知) 配膳や清掃の手順や流れについて理解し、見通しをもって活動することができる。 (思) 自分が行う活動を選択したり、見だししたりしながら、集団の中で自分から活動することができる。 (学) 友達や先輩、後輩と協力し、効率を考えながら、主体的に行おうとする態度を養う。	コース 縦割り グループ	21
	「オリエンテーション(4)」	(知) フードサービスの作業の流れについて知り、活動に見通しをもつことができる。 (思) 集団の中で自分の役割について理解し、先輩や後輩への言葉掛けや関わり方について考え、自分の目標を意識して活動することができる。 (学) 後輩を思いやり、一緒に活動する友達や先輩、後輩と協力し合って活動をやり遂げようとする態度を養う。		2
	「パン作りをしよう(3)」	(知) 道具を正確に扱い、丁寧さを保ちつつ、技術やスピードの向上を図ることができる。 (思) 自分の役割を理解し、全体を見て必要な道具を準備したり、正確に作業をするためのポイントを確認したりしながら、作業を行うことができる。 (学) お客様に買っていただくことを意識しながら、衛生面や丁寧さを意識して作業を行おうとする態度を養う。		48
	「販売をしよう(3)」【校外学習】 ・校内・校外販売	(知) 販売の方法や手順について理解し、自分の役割を果たすことができる。 (思) 販売をするときの接客方法について考え、実践することができる。 (学) お客様のことを意識しながら、接客や販売をしようとする態度を養う。		18
	「活動を振り返ろう(4)」	(知) 自分が習得できた技術や目標の達成度、今後の課題について振り返ることができる。 (思) 自分の成果と課題をまとめ、表現することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後に生かそうとする態度を養う。		2
3学期授業時数				91
総授業時数				455

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書			
高等部 第2学年 職業コース	チャレンジタイム	①道徳「メシが食える大人になる！よのなかルールブック」(日本図書センター)			
目標	<p>(知) 社会的・職業的自立について理解し、集団や社会での関わり方や職場実習において必要な知識や技能を身に付ける。</p> <p>(思) 集団や社会の中で自分ができることを判断し、多様な他者と一緒に考えたり、協議したりして、実践することができる。</p> <p>(学) 自分から進んで集団での活動を行い、社会人としての在り方に関する自覚を深めたり、社会に貢献したりしようとする態度を養う。</p>				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
1学期	「検定の取組(1)」 ・技能検定、漢字検定など		(知) 社会的・職業的自立について理解し、集団や社会での関わり方や職場実習において必要な知識や技能を身に付ける。 (思) 集団や社会の中で自分ができることを判断し、多様な他者とともに考えたり、協議したりして、実践することができる。 (学) 自分から進んで集団での活動を行い、社会人としての在り方に関する自覚を深めたり、社会に貢献したりしようとする態度を養う。	コース学年 学級	5
	「合同ホームルームでの取組(1)」 ・コース集会 ・サークル活動		(知) 異年齢集団における自分の役割を理解し、集団の仲間と協働して行ったり、課題を解決する方法を理解したりすることができる。 (思) 異年齢集団の中で自分の役割や行動について考えたり、課題の解決に向けて、自分から表現したりすることができる。 (学) 集団における人間関係をより良く形成し、仲間と協働しながら行おうとする態度を養う。	コース 縦割り グループ	4
	「道徳(1)」 ・集団や社会との関わりに関する事 ・自分自身に関する事 ・人との関わりに関する事	①	(知) 自己の生き方の考え方や人間としての生き方の知識を身に付ける。 (思) 人間としての在り方や生き方を考えたり、主体的な判断の下に行動したりして実践することができる。 (学) 自立した人間として他者とともにより良く生きるための基盤となる態度を養う。	コース学年 学級	4
1学期授業時数					13
2学期	「検定の取組(2)」 ・技能検定、漢字検定など		(知) 社会的・職業的自立について理解し、集団や社会での関わり方や職場実習において必要な知識や技能を身に付ける。 (思) 集団や社会の中で自分ができることを判断し、多様な他者とともに考えたり、協議したりして、実践することができる。 (学) 自分から進んで集団での活動を行い、社会人としての在り方に関する自覚を深めたり、社会に貢献したりしようとする態度を養う。	コース学年 学級	6
	「合同ホームルームでの取組(2)」 ・コース集会 ・サークル活動		(知) 異年齢集団における自分の役割を理解し、集団の仲間と協働して行ったり、課題を解決する方法を理解したりすることができる。 (思) 異年齢集団の中で自分の役割や行動について考えたり、課題の解決に向けて、自分から表現したりすることができる。 (学) 集団における人間関係をより良く形成し、仲間と協働しながら行おうとする態度を養う。	コース 縦割り グループ	4
	「道徳(2)」 ・集団や社会との関わりに関する事(郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度など) ・自分自身に関する事 ・人との関わりに関する事 ・生命や自然、崇高なものとの関わりに関する事	①	(知) 自己の生き方の考え方や人間としての生き方の知識を身に付ける。 (思) 人間としての在り方や生き方を考えたり、主体的な判断の下に行動したりして実践することができる。 (学) 自立した人間として他者とともにより良く生きるための基盤となる態度を養う。	コース学年 学級	5
2学期授業時数					15
3学期	「合同ホームルームでの取組(3)」 ・コース集会 ・サークル活動		(知) 異年齢集団における自分の役割を理解し、集団の仲間と協働して行ったり、課題を解決する方法を理解したりすることができる。 (思) 異年齢集団の中で自分の役割や行動について考えたり、課題の解決に向けて、自分から表現したりすることができる。 (学) 集団における人間関係をより良く形成し、仲間と協働しながら行おうとする態度を養う。	コース 縦割り グループ	4
	「道徳(3)」 ・集団や社会との関わりに関する事(我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度など) ・自分自身に関する事 ・人との関わりに関する事	①	(知) 自己の生き方の考え方や人間としての生き方の知識を身に付ける。 (思) 人間としての在り方や生き方を考えたり、主体的な判断の下に行動したりして実践することができる。 (学) 自立した人間として他者とともにより良く生きるための基盤となる態度を養う。	コース学年 学級	3
3学期授業時数					7
総授業時数					35

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書			
高等部 第2学年 職業コース	国語科	①国語「くらしに役立つ国語」(東洋館)			
目標	<p>(知) 社会生活に必要な国語の知識と技能を身に付ける。</p> <p>(思) 筋道を立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養ったり、人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたりすることができる。</p> <p>(学) 国語に親しんだり、理解したりすることを通して、自分の思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。</p>				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
1 学期	「表現力を高めよう」 ・慣用句や例えの言葉について知る。 ・慣用句を使用した文章を書いたり、話したりする。	①	(知) 生活の中で使われる慣用句の意味を知ることができる。 (思) 慣用句を使用した文章を考え、発表することができる。 (学) 言葉のもつ良さを認識し、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	コース学年 学級	4
	「物語に親しもう」【読書指導】 ・物語を読み、あらすじを読み取る。 ・登場人物の気持ちや行動の理由などを文章から読み取る。 ・物語を読んだ感想などを書き、発表する。	①	(知) 文章を正しく読み、物語の展開を読み取ることができる。 (思) 登場人物の心情や行動の理由を考えることができる。 (学) 物語を読んだ感想を書き、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。		9
1 学期授業時数					13
2 学期	「詩に親しもう」 ・詩を読み、表現技法や作品のテーマなどを読み取る。 ・あいうえお作詩を行う。 ・詩を作る。	①	(知) 詩の表現方法を理解することができる。 (思) 詩のリズムや情景、心情の表現を感じ取り、言葉の強弱や間の取り方を工夫して読むことができる。 (学) 言葉のもつ良さを認識し、主体的に表現しようとする態度を養う。	コース学年 学級	7
	「新聞を作ろう」 ・自分新聞や修学旅行新聞を作る。 ・発表する。	①	(知) 新聞の紙面構成の特徴を理解し、文字の大きさや配列などを決めて文章を書くことができる。 (思) 自分の考えが伝わるように文章を整え、書き表し方を工夫することができる。 (学) 言葉のもつ良さを認識し、主体的に表現しようとする態度を養う。		8
2 学期授業時数					15
3 学期	「古典に親しもう」 ・百人一首かるたを行う。	①	(知) 親しみやすい和歌などの文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。 (思) 言葉の響きやリズムの表現の効果を考えることができる。 (学) 言葉のもつ良さを認識し、主体的に表現しようとする態度を養う。	コース学年 学級	2
	「作文を書こう」 ・「1年間を振り返って」というテーマで作文を書く。 ・発表する。	①	(知) 作文の書き方の手順や決まりを理解することができる。 (思) 1年間の思い出を、筋道が通った文章になるように、構成を考えながら書くことができる。 (学) 言葉のもつ良さを認識し、主体的に表現しようとする態度を養う。		5
3 学期授業時数					7
総授業時数					35

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書			
高等部 第2学年 職業コース	数学科	①数学「くらしに役立つ数学」(東洋館)			
目標	<p>(知) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能を身に付ける。</p> <p>(思) 日常の事象を数学的に捉え、見通しをもち、筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形などの性質を見だし、統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現したり目的に応じて柔軟に表したりする力を身に付ける。</p> <p>(学) 数学的活動の楽しさや数学の良さを実感し、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してより良いものを求めて粘り強く考える態度や、数学を生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p>				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
1 学期	「数と計算」 ・基礎的な四則計算 ・分数(同分母の分数の加法・減法) ・小数の乗法・除法 ・約分 ・正の数・負の数	①	<p>(知) 分数・小数の意味と表し方や四則の関係について理解するとともに、計算に関する意味や法則について理解し、それらを計算する技能を身に付ける。</p> <p>(思) 数とその表現や計算の意味に着目し、数の表し方や計算の仕方などを考察するとともに、数量の関係を簡潔かつ一般的に表現する力を身に付ける。</p> <p>(学) 数量について数学的に表現・処理したことを振り返ったり、数学の良さを実感したりし、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p>	コース学年 学級	13
1 学期授業時数					13
2 学期	「調理をしよう」 ・百分率、歩合 ・金銭(消費税・割引計算)	①	<p>(知) 百分率と小数の関係について理解するとともに、それらを表現したり、計算したりする技能を身に付ける。</p> <p>(思) 百分率とその表現や計算の意味に着目し、数の表し方や計算の仕方などを考察する力を身に付ける。</p> <p>(学) 数量について数学的に表現・処理したことを振り返ったり、数学の良さを実感したりし、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p>	コース学年 学級	10
	「変化と関係(1)」 ・速さを調べる。 ・道のりと時間と速さの関係 ・道のりと時間から速さを求める。 ・速さと時間から道のりを求める。 ・道のりと速さから時間を求める。	①	<p>(知) 二つの数量の関係について表や式を用いて表現する技能を身に付ける。</p> <p>(思) 伴って変わる二つの数量の関係に着目し、目的に応じて表や式を用いて考察したり、比例の関係を前提に二つの数量の関係を考察したりする力を身に付ける。</p> <p>(学) 数量について数学的に表現・処理したことを振り返ったり、数学の良さを実感したりし、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p>		5
2 学期授業時数					15
3 学期	「図形」 ・平面図形 ・面積 ・図形の性質	①	<p>(知) 平面図形の性質について理解し、面積を求める技能を身に付ける。</p> <p>(思) 面積の求め方を考え、公式として導く力を身に付ける。</p> <p>(学) 図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返ったり、数学の良さに気付いたりし、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p>	コース学年 学級	3
	「変化と関係(2)」 ・表とグラフ ・「季節」	①	<p>(知) データをグラフで表す表し方や読み取り方を理解するとともに、それらの問題解決における用い方に関する技能を身に付ける。</p> <p>(思) 目的に応じてデータを収集し、データの特徴や傾向に着目して、表やグラフに的確に表し、それらを用いて問題を解決したり、解決の過程や結果を多面的に捉えて考察したりする力を身に付ける。</p> <p>(学) データの活用について数学的に、表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してより良いものを求めて粘り強く考えようとする態度や、数学の良さに気付く学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p>		4
3 学期授業時数					7
総授業時数					35

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書			
高等部 第2学年 職業コース	音楽科	①音楽「くらしに役立つ音楽」(東洋館)			
目標	<p>(知) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解し、音楽表現をするために必要な歌唱や器楽の身体技能を身に付ける。</p> <p>(思) 創意工夫をしながら自分なりの音楽表現をしたり、音楽の美しさを味わいながら鑑賞したりすることができる。</p> <p>(学) 主体的・協働的に表現や鑑賞の学習を行い、音楽によって生活を明るく豊かなものにしようとする態度を養う。</p>				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
1 学 期	歌唱「歌練習(1)」	①	<p>(知) 歌唱の活動を通して、曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりや、声の音色や響きと発声の関わりを理解し、創意工夫を生かした表現をするために必要な技能を身に付ける。</p> <p>(知) 器楽の活動を通して、曲想と音楽の構造との関わりや、多様な楽器の音色と演奏の仕方との関わりを理解し、創意工夫を生かした表現をするために必要な技能を身に付ける。</p> <p>(知) 身体表現の活動を通して、曲想と音楽の構造との関わりや、曲想や音楽の構造と体の動きとの関わりを理解し、創意工夫を生かした表現をするために必要な技能を身に付ける。</p> <p>(知) 鑑賞の活動を通して、曲想及びその変化と音楽の構造との関わりや、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史などとの関わりについて理解したりすることができる。</p> <p>(思) 歌唱の活動を通して、歌唱表現に関する知識や技能を得たり、生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫することができる。</p> <p>(思) 器楽の活動を通して、器楽表現に関する知識や技能を得たり、生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫することができる。</p> <p>(思) 身体表現の活動を通して、身体表現に関する知識や技能を得たり、生かしたりしながら、身体表現を創意工夫することができる。</p> <p>(思) 鑑賞の活動を通して、鑑賞に関する知識を得たり、生かしたりしながら、曲や演奏の良さなどについて自分なりに考え、曲全体を味わって聴くことができる。</p> <p>(学) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習を行い、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていくこととする態度を養う。</p>	コース全体 コース学年 学級	10.4
	歌唱「季節を感じて歌おう(1)」	①		コース学年 学級	2
	器楽「器楽合奏に親しもう」	①		コース学年 学級	5
	鑑賞「世界の名曲に親しもう(1)」	①		コース全体 コース学年 学級	1
	歌唱「合唱に取り組もう」	①		コース全体 コース学年 学級	5
1学期授業時数					23.4
2 学 期	歌唱「歌練習(2)」	①	<p>(知) 歌唱の活動を通して、曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりや、声の音色や響きと発声の関わりを理解し、創意工夫を生かした表現をするために必要な技能を身に付ける。</p> <p>(知) 器楽の活動を通して、曲想と音楽の構造との関わりや、多様な楽器の音色と演奏の仕方との関わりを理解し、創意工夫を生かした表現をするために必要な技能を身に付ける。</p> <p>(知) 身体表現の活動を通して、曲想と音楽の構造との関わりや、曲想や音楽の構造と体の動きとの関わりを理解し、創意工夫を生かした表現をするために必要な技能を身に付ける。</p> <p>(知) 鑑賞の活動を通して、曲想及びその変化と音楽の構造との関わりや、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史などとの関わりについて理解したりすることができる。</p> <p>(思) 歌唱の活動を通して、歌唱表現に関する知識や技能を得たり、生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫することができる。</p> <p>(思) 器楽の活動を通して、器楽表現に関する知識や技能を得たり、生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫することができる。</p> <p>(思) 身体表現の活動を通して、身体表現に関する知識や技能を得たり、生かしたりしながら、身体表現を創意工夫することができる。</p> <p>(思) 鑑賞の活動を通して、鑑賞に関する知識を得たり、生かしたりしながら、曲や演奏の良さなどについて自分なりに考え、曲全体を味わって聴くことができる。</p> <p>(学) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習を行い、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていくこととする態度を養う。</p>	コース全体 コース学年 学級	12
	歌唱「季節を感じて歌おう(2)」	①		コース学年 学級	2
	器楽「器楽合奏をしよう」	①		コース学年 学級	6
	鑑賞「世界の名曲に親しもう(2)」	①		コース学年 学級	2
	歌唱「ハーモニーを感じて歌おう」	①		コース全体 コース学級 学級	5
2学期授業時数					27
3 学 期	歌唱「歌練習(3)」	①	<p>(知) 歌唱の活動を通して、曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりや、声の音色や響きと発声の関わりを理解し、創意工夫を生かした表現をするために必要な技能を身に付ける。</p> <p>(知) 器楽の活動を通して、曲想と音楽の構造との関わりや、多様な楽器の音色と演奏の仕方との関わりを理解し、創意工夫を生かした表現をするために必要な技能を身に付ける。</p> <p>(知) 身体表現の活動を通して、曲想と音楽の構造との関わりや、曲想や音楽の構造と体の動きとの関わりを理解し、創意工夫を生かした表現をするために必要な技能を身に付ける。</p> <p>(知) 鑑賞の活動を通して、曲想及びその変化と音楽の構造との関わりや、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史などとの関わりについて理解したりすることができる。</p> <p>(思) 歌唱の活動を通して、歌唱表現に関する知識や技能を得たり、生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫することができる。</p> <p>(思) 器楽の活動を通して、器楽表現に関する知識や技能を得たり、生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫することができる。</p> <p>(思) 身体表現の活動を通して、身体表現に関する知識や技能を得たり、生かしたりしながら、身体表現を創意工夫することができる。</p> <p>(思) 鑑賞の活動を通して、鑑賞に関する知識を得たり、生かしたりしながら、曲や演奏の良さなどについて自分なりに考え、曲全体を味わって聴くことができる。</p> <p>(学) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習を行い、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていくこととする態度を養う。</p>	コース全体 コース学年 学級	5.6
	歌唱「心を込めて歌おう」	①		コース学年 学級	6
	「まとめをしよう」	①		コース学年 学級	1
3学期授業時数					12.6
総授業時数					63

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書			
高等部 第2学年 職業コース	美術科	①美術「小学館の図鑑NEOアート 図解はじめての絵画」(小学館)			
目標	<p>(知) 造形的な視点について理解し、意図に応じて自分の表現方法を工夫して表すことができる。</p> <p>(思) 造形的な良さや美しさ、表現の意図と工夫について考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができる。</p> <p>(学) 楽しく美術の活動を行い、創造活動の喜びを味わったり、美術を愛好する心情を培ったりして、心豊かな生活を創造していこうとする態度を養う。</p>				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
1 学期	<p>「絵手紙の制作」</p> <p>○身の回りの物をモチーフにしたり、タブレット端末で撮影したモチーフの写真を利用したりして描く描画活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・モチーフを決めてスケッチブックに下絵制作</li> <li>・絵手紙用のはがきに墨と筆で輪郭などの描写</li> <li>・顔彩を使った彩色</li> <li>・作品の展示・鑑賞</li> </ul>	①	<p>(知) 道具の扱い方や特徴を理解して、作品を描くことができる。</p> <p>(思) 墨の濃淡や線の強弱などを意識して表現することができる。</p> <p>(学) 絵手紙を描く活動を通して、創造活動への喜びを味わったり、友達の作品の良さを感じ取ったりしようとする態度を養う。</p>	コース学年 学級	8
	<p>「生活の中からモチーフを見つけて描こう(1)」</p> <p>○身の回りの物や人をモチーフとした描画活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマ決めと下絵制作</li> <li>・鉛筆を用いた輪郭の描写</li> <li>・クレヨンや絵の具などの道具を用いた着色</li> <li>・作品の展示・鑑賞</li> </ul>	①	<p>(知) 道具の扱い方や特徴を理解し、線を描いたり、色を塗ったりして、丁寧に描くことができる。</p> <p>(思) 身の回りの物や人をモチーフにし、注意深く観察しながら描いて表現することができる。</p> <p>(学) 作品を完成させることを通して、達成感を感じたり、友達の作品の良さを感じ取ったりしようとする態度を養う。</p>		5
1 学期授業時数					13
2 学期	<p>「生活の中からモチーフを見つけて描こう(2)」</p> <p>○身の回りの物や人をモチーフとした描画活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマ決めと下絵制作</li> <li>・鉛筆を用いた輪郭の描写</li> <li>・クレヨンや絵の具などの道具を用いた着色</li> <li>・作品の展示・鑑賞</li> </ul>	①	<p>(知) 道具の扱い方や特徴を理解し、線を描いたり、色を塗ったりして、丁寧に描くことができる。</p> <p>(思) 身の回りの物や人をモチーフにし、注意深く観察しながら描いて表現することができる。</p> <p>(学) 作品を完成させることを通して、達成感を感じたり、友達の作品の良さを感じ取ったりしようとする態度を養う。</p>	コース学年 学級	5
	<p>「スクラッチアートの制作」</p> <p>○スクラッチの技法を用いた表現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スクラッチの技法の理解</li> <li>・クレヨンや絵の具を用いた表現</li> <li>・作品の展示・鑑賞</li> </ul>	①	<p>(知) 材料や道具の扱い方を理解して、作品を作ることができる。</p> <p>(思) スクラッチの技法を使い、削り方を工夫しながら表現することができる。</p> <p>(学) 制作活動を通して、創造活動への喜びや達成感を感じようとする態度を養う。</p>		10
2 学期授業時数					15
3 学期	<p>「起き上がり小法師の制作」</p> <p>○伝統工芸品の制作活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統工芸(会津張り子細工)の理解</li> <li>・制作工程や技法の理解</li> <li>・デザインの検討・制作</li> <li>・新聞紙や和紙、折り紙などを用いた立体作品の創作活動</li> <li>・アクリル絵の具などによる着色や描写</li> <li>・作品の展示・鑑賞</li> </ul>	①	<p>(知) 作り方の手順を理解し、立体を意識して道具や材料を適切に扱いながら制作することができる。</p> <p>(思) 民芸の歴史や作品に触れ、伝統を踏まえながら、独自のデザインやアイデアを作品に生かして表現することができる。</p> <p>(学) 鑑賞を通して、自他の作品を評価したり、お互いの良さを称え合ったりしながら、創作活動への喜びや達成感を感じようとする態度を養う。</p>	コース学年 学級	7
3 学期授業時数					7
総授業時数					35

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書			
高等部 第2学年 職業コース	保健体育科	①保健体育「くらしに役立つ保健体育」(東洋館)			
目標	<p>(知) 運動の楽しさや喜びを深く味わい、生活に必要な健康・安全に関する事柄の理解を深め、目的に応じた技能を身に付ける。</p> <p>(思) 運動や健康・安全について自分の課題を理解し、その解決に向けて友達と考えて判断したり、伝えたりする力を身に付ける。</p> <p>(学) 生涯にわたって運動に親しみ、健康の保持増進と体力の向上を目指して、明るく豊かな生活を営もうとする態度を養う。</p>				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
1 学期	「体力づくり(1)」 ・準備体操 ・ランニング ・筋力トレーニング ・エクササイズ ・ダンス ・体カテスト ・整理体操	①	(知) 体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地良さを味わうことができる。 (思) 自分の課題を見付け、解決することができるように運動することができる。 (学) 体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営もうとする態度を養う。	コース全体 学級	15.6
	「体育祭の取組」 ・集合・整列 ・種目練習 ・全体練習		(知) 集団として必要な行動の仕方を身に付け、全体に合わせて正確に行うことができる。 (思) 種目練習で、道具の操作を自分で工夫したり、考えたりすることができる。 (学) 友達や先輩、後輩と協力して、種目などの練習を行うおうとする態度を養う。		
	「ニュースポーツ」 ・カローリング ・グラウンドゴルフ ・フライングディスク ・ポッチャ	①	(知) 友達と協力し、場や用具の安全面に気を付けて、生涯にわたってできる種目を行うことができる。 (思) ニュースポーツにおける自他の課題を発見し、解決するための方策を工夫したり、友達と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学) ニュースポーツの多様な経験を通して、決まりやルール、マナーなどを守り、自主的に運動しようとする態度を養う。	コース学年 学級	2
1学期授業時数					28.6
2 学期	「体力づくり(2)」 ・準備体操 ・ランニング ・筋力トレーニング ・エクササイズ ・ダンス ・整理体操	①	(知) 体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地良さを味わうことができる。 (思) 自分の課題を見付け、解決することができるように運動することができる。 (学) 体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営もうとする態度を養う。	コース全体 学級	18
	「水泳」 ・アクアビクス ・自由形 ・平泳ぎ ・背泳ぎ ・ターン	①	(知) いろいろな泳法の特性を理解し、自分が得意な泳法を身に付ける。 (思) 課題を見付け、解決の方法を工夫したり、友達と考えたりすることができる。 (学) 水泳の多様な経験を通して、決まりやルール、マナーを守り、友達と協力したり、場や用具の安全を確保したりして、自主的に運動しようとする態度を養う。		4
	「器械運動」 ・跳び箱運動(開閉跳び、台上前転) ・マット運動	①	(知) 基本的な跳び方を身に付け、安全に技をすることができる。 (思) 自己の課題に応じて、技の習得に適した練習方法を選ぶことができる。 (学) 良い技や演技に対して、称賛の言葉を掛けるなど、友達の努力を認めようとする態度を養う。	コース学年 学級	2
	「武道」 ・柔道 ・武道に関する鑑賞	①	(知) 武道の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能や基本動作を理解することができる。 (思) 武道における自他の課題を発見し、友達と工夫したり、考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学) 武道の多様な経験を通して、決まりや伝統的な行動の仕方を守り、友達と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動しようとする態度を養う。		2
	「球技」 ・ネット型(バレーボール、卓球、パドミントンなど) ・ベースボール型(キックベースボール、ティーボールなど)	①	(知) 球技の特性に応じた技能を理解して身に付け、簡易化されたゲームの中で発揮することができる。 (思) 球技における自他の課題を発見し、解決のための方策を工夫したり、友達と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学) 球技の多様な経験を通して、決まりやルール、マナーなどを守り、自主的に運動しようとする態度を養う。		7
2学期授業時数					33
3 学期	「体力づくり(3)」 ・準備体操 ・ランニング ・筋力トレーニング ・エクササイズ ・ダンス ・整理体操	①	(知) 体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地良さを味わうことができる。 (思) 自分の課題を見付け、解決することができるように運動することができる。 (学) 体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営もうとする態度を養う。	コース全体 学級	8.4
	「性の学習」 ・男女の心の違い ・思春期の心の変化	①	(知) 男女の心の違いや思春期の心の変化について理解することができる。 (思) 思春期の心の変化について考えたり、表現したりすることができる。 (学) 心の変化について理解し、互いを思いやろうとする態度を養う。	コース学年 学級	2
	「陸上運動」 ・長距離走 ・短距離走 ・ハードル走 ・リレー ・投てき	①	(知) 陸上競技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解して身に付ける。 (思) 陸上競技における自他の課題を発見し、解決するための方策を工夫したり、友達と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学) 陸上競技の多様な経験を通して、決まりやルール、マナーなどを守り、自主的に運動しようとする態度を養う。	コース全体 コース学年 学級	5
3学期授業時数					15.4
総授業時数					77

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書			
高等部 第2学年 職業コース	職業科	①職業「くらしに役立つソーシャルスキル」(東洋館)			
目標	<p>(知) 職業に関する事柄について理解を深めるとともに、将来の職業生活に関わる技能を身に付ける。</p> <p>(思) 将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見だして課題を設定し、解決策を考えたり、実践を評価・改善したりしながら、表現することができる。</p> <p>(学) より良い将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。</p>				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
1 学期	「オリエンテーション」 ・1年間の学習の予定	①	(知) 職業科の1年間の学習予定について知り、活動に見通しをもつことができる。 (思) 将来の職業生活について、考えることができる。 (学) より良い将来の職業生活の実現に向けて、取り組もうとする態度を養う。	コース学年 学級	1
	「職場体験実習2(事前学習)」 ・実習への心構え ・目標設定(JST面談) ・態度と服装 ・評価内容の理解	①	(知) 職場体験実習2における基本的な態度や服装、仕事内容や評価内容を理解することができる。 (思) 実習に向けて意欲や見通しをもち、目標を考えることができる。 (学) 勤労に対する意欲や関心を高め、取り組もうとする態度を養う。		5
	「ビジネスマナー(1)」 ・面接の基本 ・挨拶 ・丁寧言葉 ・クッション言葉 ・お願いの仕方	①	(知) 基本的な面接のマナーと職場における基本的なコミュニケーションの取り方について知ることができる。 (思) 職場における適切なコミュニケーションの取り方を他者と協働しながら考えることができる。 (学) 職場における基本的な言葉を遣うロールプレイングを通して、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。		7
1学期授業時数					13
2 学期	「職場体験実習2(事後学習)」 ・実習における目標の達成割合の自己評価 ・実習報告会	①	(知) 職場体験実習2における目標の達成割合に関する自己評価の方法を知ることができる。 (思) 実習を振り返って、成果と課題を明確にし、実践を評価したり、解決策を考えたりしながら、表現することができる。 (学) 実習での課題を克服し、将来の職業生活に向けて生活を改善しようとする実践的な態度を養う。	コース学年 学級	3
	「ビジネスマナー(2)」 ・感謝や謝罪などの気持ちの表し方 ・上手な誘い方 ・上手な断り方 ・相談する ・相手の話を聞く	①	(知) 職場における適切なコミュニケーションの取り方や相談する方法について知ることができる。 (思) 職場における適切なコミュニケーションの取り方を他者と協働しながら考えることができる。 (学) 職場における基本的な言葉を遣うロールプレイングを通して、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。		10
	「職場体験実習3(事前学習)」 ・実習への心構え ・目標設定(JST面談) ・態度と服装 ・評価内容の理解	①	(知) 職場体験実習3における基本的な態度や服装、仕事内容や評価内容を理解することができる。 (思) 実習に向けて意欲や見通しをもち、目標を考えることができる。 (学) 勤労に対する意欲や関心を高め、取り組もうとする態度を養う。		2
2学期授業時数					15
3 学期	「卒業生から学ぶ(卒業後の生活)」 ・卒業生の社会生活について	①	(知) 卒業後の生活についてを知ることができる。 (思) 自分の進路に向けて、成果と課題を明確にし、解決策を考えて、表現することができる。 (学) 将来の職業生活に向けて生活を改善しようとする実践的な態度を養う。	コース全体	1
	「職場体験実習3(事後学習)」 ・実習における目標の達成割合の自己評価 ・実習報告会	①	(知) 職場体験実習3における目標の達成割合に関する自己評価の方法を知ることができる。 (思) 実習を振り返って、成果と課題を明確にし、実践を評価したり、解決策を考えたりしながら、表現することができる。 (学) 実習での課題を克服し、将来の職業生活に向けて生活を改善しようとする実践的な態度を養う。	コース学年 学級	2
	「職業生活について考えよう」 ・相談支援機関について ・ハローワーク ・就労・生活支援センター	①	(知) ハローワークや就労・生活支援センターの役割について知ることができる。 (思) 職業生活で困ったときに、適切な相談機関で相談しようとするすることができる。 (学) 職業生活で困ったときに、適切な相談機関に行き、問題を解決しようとする態度を養う。		2
	「職業相談に向けた取組」 ・職業相談について ・就労パスポートの記入 ・面接練習	①	(知) 職業相談の意義と役割について知ることができる。 (思) 職業相談の面接で、自分のことを表現することができる。 (学) 職業相談の面接に向けて、意欲をもって取り組もうとする態度を養う。		1
	「先輩から学ぶ」 ・職業コース3年生による進路報告会 ・1年間のまとめ	①	(知) 先輩の3年間の職場実習の取組の成果を知ることができる。 (思) 先輩の報告を受けて自分を振り返り、進路決定に向けて考えることができる。 (学) 先輩の報告を受けて自分を振り返り、進路決定に向けて、意欲をもって取り組もうとする態度を養う。	コース全体	1
3学期授業時数					7
総授業時数					35

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書			
高等部 第2学年 職業コース	家庭科	①家庭「いちばんわかりやすい 家事のきほん大事典」(成美堂出版)			
目標	<p>(知) 生活の自立に必要な衣食住、消費や環境などに関する基礎的な理解ができるとともに、それに関わる技術を身に付ける。</p> <p>(思) 生活の中にある課題に対する解決策や、実践しながら改善点を考えることができる。</p> <p>(学) より良い生活の実現に向けて、生活を工夫したり、考えたことを実践したりしようとする態度を養う。</p>				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
1 学 期	「調理の基礎知識と技能を身に付けよう(1)」【校外学習】 ・調理における衛生管理 ・昼食メニューの検討 ・調理実習	①	(知) 調理における衛生管理について理解し、基本動作を身に付ける。 (思) 効率的な動作や栄養・衛生管理に配慮した食事について考えることができる。 (学) 効率的な動作や栄養・衛生管理に配慮した食事について、主体的に考えたり、表現したりしようとする態度を養う。	コース学年 学級	6
	「住居の基礎知識と技能を身に付けよう」 ・住居の機能 ・室内環境 ・住居の管理	①	(知) 住居の機能や室内環境について理解し、住居の管理に関わる技術を身に付ける。 (思) より安全で快適な住生活を営むための工夫について考えたり、表現したりすることができる。 (学) 住居の管理について主体的に考え、自分の生活に生かそうとする態度を養う。		5
	「大掃除をしよう」 ・床の雑巾掛け ・床磨き ・物品の整理整頓	①	(知) 清掃の基礎的な技術を身に付ける。 (思) 普段の清掃で行わない、細かいところの清掃について考えたり、汚れを見付けたりすることができる。 (学) 学んだ知識を生かし、生活に取り入れようとする態度を養う。		2
1 学期授業時数					13
2 学 期	「保育の知識と技能を身に付けよう」 ・妊娠と出産 ・子供との関わり ・子供の発達過程	①	(知) 妊娠や出産を含む子供の発達過程や子供の生活の特徴について理解することができる。 (思) 子供との適切な関わり方について考えたり、工夫したりすることができる。 (学) 子供との適切な関わり方を主体的に考えたり、自分から関わったりしようとする態度を養う。	コース学年 学級	5
	「調理の基礎知識と技能を身に付けよう(2)」【校外学習】 ・調理における衛生管理 ・昼食メニューの検討 ・調理実習	①	(知) 調理における衛生管理について理解し、基本動作を身に付ける。 (思) 効率的な動作や栄養・衛生管理に配慮した食事について考えることができる。 (学) 効率的な動作や栄養・衛生管理に配慮した食事について、主体的に考えたり、表現したりしようとする態度を養う。		8
	「大掃除をしよう」 ・床の雑巾掛け ・床磨き ・物品の整理整頓		(知) 清掃の基礎的な技術を身に付ける。 (思) 普段の清掃で行わない、細かいところの清掃について考えたり、汚れを見付けたりすることができる。 (学) 学んだ知識を生かし、生活に取り入れようとする態度を養う。		2
2 学期授業時数					15
3 学 期	「布を使って作ろう」 ・手縫い練習 ・ボタン付け ・ミシンの使い方 ・アイロンの使い方	①	(知) 被服の製作に関わる技術を身に付ける。 (思) 被服製作において、より良く仕上げるための工夫について気付いたり、考えたり、表現したりすることができる。 (学) 製作工程を理解し、主体的に行おうとする態度を養う。	コース学年 学級	5
	「大掃除をしよう」 ・床の雑巾掛け ・床磨き ・物品の整理整頓	①	(知) 清掃の基礎的な技術を身に付ける。 (思) 普段の清掃で行わない、細かいところの清掃について考えたり、汚れを見付けたりすることができる。 (学) 学んだ知識を生かし、生活に取り入れようとする態度を養う。		2
3 学期授業時数					7
総授業時数					35

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書			
高等部 第2学年 職業コース	外国語科	①外国語「くらしに役立つ英語」(東洋館)			
目標	<p>(知) 外国語の音声や文字、語彙や表現、言語の働きなどについて違いに気付くとともに、読むこと・書くことに慣れ親しみ、聞くこと・話すことを通して、実際のコミュニケーション場面で活用することができる技能を身に付ける。</p> <p>(思) 身近で簡単な事柄について理解し、基本的な表現を用いて自分の考えや気持ちを伝えたり、相手の考えや気持ちを知ったりしながら、コミュニケーションを図ることができる。</p> <p>(学) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
1 学期	「日本のことを紹介する表現」	①	(知) 行事や文化を伝える表現や、月や季節を表す言葉について理解し、簡単な文章を読んだり、意味を確認したりすることができる。 (思) 学んだ英単語やフレーズを使って、自分のことを表現したり、会話を基に相手のことを知ったりすることができる。 (学) 学習する上で必要な文法や外国の文化・風習を知り、主体的に学ぼうとする態度を養う。	コース学年 学級	5
	「電話やお誘いで使う表現」	①	(知) 電話やお誘いで使う単語や表現について理解し、簡単な文章を読んだり、相手に伝えたりすることができる。 (思) 学んだ英単語やフレーズを使って、自分のことを表現したり、会話を基に相手のことを知ったりすることができる。 (学) 学習する上で必要な文法や外国の文化・風習を知り、主体的に学ぼうとする態度を養う。		4
	「挨拶や疑問文の表現」	①	(知) 挨拶や相手の好きなものを聞きたいときの表現について理解し、簡単な文章を読んだり、意味を確認したりすることができる。 (思) 学んだ英単語やフレーズを使って、自分のことを表現したり、会話を基に相手のことを知ったりすることができる。 (学) 学習する上で必要な文法や外国の文化・風習を知り、主体的に学ぼうとする態度を養う。		4
1 学期授業時数					13
2 学期	「自分以外の人を紹介する表現」	①	(知) 代名詞について学び、人を説明する簡単な文章を書いたり、読んだりすることができる。 (思) 学んだ英単語やフレーズを使って、自分のことを表現したり、会話を基に相手のことを知ったりすることができる。 (学) 学習する上で必要な文法や外国の文化・風習を知り、主体的に学ぼうとする態度を養う。	コース学年 学級	4
	「物事を尋ねる表現」	①	(知) 物の数を聞いたり、答えたりする表現について理解し、簡単な文章を読んだり、意味を確認したりすることができる。 (思) 学んだ英単語やフレーズを使って、自分のことを表現したり、会話を基に相手のことを知ったりすることができる。 (学) 学習する上で必要な文法や外国の文化・風習を知り、主体的に学ぼうとする態度を養う。		4
	「場所を説明するときの表現」	①	(知) その場所にあるものを説明するときの表現について理解し、簡単な文章を読んだり、意味を確認したりすることができる。 (思) 学んだ英単語やフレーズを使って、自分のことを表現したり、会話を基に相手のことを知ったりすることができる。 (学) 学習する上で必要な文法や外国の文化・風習を知り、主体的に学ぼうとする態度を養う。		4
	「動詞の現在形・過去形(1)」	①	(知) 文章を書くときに、現在と過去では動詞の形が変わることを理解し、簡単な文章を読んだり、書いたりすることができる。 (思) 学んだ英単語やフレーズを使って、自分のことを表現したり、会話を基に相手のことを知ったりすることができる。 (学) 学習する上で必要な文法や外国の文化・風習を知り、主体的に学ぼうとする態度を養う。		3
2 学期授業時数					15
3 学期	「動詞の現在形・過去形(2)」	①	(知) 文章を書くときに、現在と過去では動詞の形や語順が変わることを理解し、簡単な文章を読んだり、書いたりすることができる。 (思) 学んだ英単語やフレーズを使って、自分のことを表現したり、会話を基に相手のことを知ったりすることができる。 (学) 学習する上で必要な文法や外国の文化・風習を知り、主体的に学ぼうとする態度を養う。	コース学年 学級	3
	「提案や依頼をするときの表現」	①	(知) 人に提案や依頼するときの表現について理解し、簡単な文章を聞いたり、伝えたりすることができる。 (思) 学んだ英単語やフレーズを使って、自分のことを表現したり、会話を基に相手のことを知ったりすることができる。 (学) 学習する上で必要な文法や外国の文化・風習を知り、主体的に学ぼうとする態度を養う。		4
3 学期授業時数					7
総授業時数					35

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書			
高等部 第2学年 職業コース	情報科	①情報「大きな字でわかりやすい エクセル2019入門」(技術評論社)			
目標	<p>(知) 身近にあるコンピューターやデータの活用について理解し、基礎的な技能を身に付ける。</p> <p>(思) 身近な事象を知ったり、問題を解決したりするために必要な情報と情報技術を適切に活用する力を身に付ける。</p> <p>(学) 身近にある情報や情報技術を適切に活用し、情報社会に参画しようとする態度を養う。</p>				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
1 学期	「文書作成実習(1)」 ・文書作成ソフトの活用 ・文書作成ソフトを使った文字入力 ・文書作成 ・パソコン技能検定に向けた取組	①	(知) 制限時間内に多くの文字を入力したり、指定の文書を作成したりすることができる。 (思) 正確に文字を入力し、体裁を整えることができる。 (学) 作業に達成感を感じ、進んで作業をしようとする態度を養う。	コース学年 学級	8
	「タブレット端末実習」 ・タブレット端末の活用 ・学習管理ツールの使用方法 ・パスワード入力 ・返信方法		(知) タブレット端末の基本的な使用方法について理解することができる。 (思) 学習管理ツールの使用方法を確認し、パスワードを入力してログインをしたり、文章を入力したりすることができる。 (学) 正しい使用方法を身に付け、活用しようとする態度を養う。		3
	「情報リテラシー(1)」 ・SNSやインターネットの活用上の注意点		(知) SNSやインターネットなどを適切に管理し、情報を扱う上で個人に責任があることに関して理解することができる。 (思) SNSやインターネットの正しい使用方法を調べたり、確認したりすることができる。 (学) SNSやインターネットを正しく活用しようとする態度を養う。		2
1学期授業時数					13
2 学期	「文書作成実習(2)」 ・文書作成ソフトの活用 ・文書作成ソフトを使った文字入力 ・文書作成 ・表作成		(知) 制限時間内に多くの文字を入力したり、指定の文書を作成したりすることができる。 (思) 正確に文字を入力し、体裁を整えることができる。 (学) 作業に達成感を感じ、進んで作業をしようとする態度を養う。	コース学年 学級	4
	「表計算実習」 ・表計算ソフトの活用 ・表計算ソフトによる表計算 ・売上表・グラフの作成	①	(知) 表計算ソフトの正しい入力の仕方を知ることができる。 (思) 表計算ソフトを使用して、データを入力し、売上表やグラフを作成することができる。 (学) 正しい使用方法を身に付け、活用しようとする態度を養う。		5
	「プレゼンテーション資料作成実習」 ・プレゼンテーション資料作成ソフトの活用 ・資料作成 ・発表		(知) フォントの変更やアニメーションの入れ方などの操作方法を理解することができる。 (思) デザインを工夫しながら、プレゼンテーション資料を作成することができる。 (学) プレゼンテーション資料作成ソフトを活用しようとする態度を養う。		5
	「情報リテラシー(2)」 ・SNSの活用上の注意点 ・SNSトラブルに関する相談機関		(知) SNSトラブルに関して、基本的な法規や制度について理解することができる。 (思) 法規や制度及びマナーの意義、役割や責任、情報モラルについて調べることができる。 (学) SNSで起きたトラブルに関する相談機関の活用について学ぼうとする態度を養う。		1
2学期授業時数					15
3 学期	「進路報告会に向けたプレゼンテーション資料の作成」 ・プレゼンテーション資料作成ソフトの活用 ・資料作成 ・発表練習		(知) フォントの変更やアニメーションの入れ方などの操作方法を理解することができる。 (思) デザインを工夫しながら、プレゼンテーション資料を作成することができる。 (学) プレゼンテーション資料作成ソフトを活用しようとする態度を養う。	コース学年 学級	7
3学期授業時数					7
総授業時数					35

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書			
高等部 第2学年 職業コース	家政科	①家政「くらしに役立つ家庭」(東洋館)			
目標	(知) 生活に関わる産業について理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 (思) 生活産業に関わる課題について、社会人としての倫理観を踏まえて解決しようとする力を身に付ける。 (学) より良い社会の構築を目指して自分から学び、社会貢献に主体的・協働的に行おうとする態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
1 学期	「調理の基礎知識と技術を身に付けよう」 ・食品加工技能検定に向けた取組		(知) 食品加工技能検定の手順について知り、技術を身に付ける。 (思) 食品加工技能検定に向けた取組を行う中で、課題に気付き、解決策を考 えることができる。 (学) 食品加工技能検定に向けた取組に主体的に行おうとする態度を養う。	コース学年 学級	10
	「接客の基礎知識と技術を身に付けよう」 ・接客技能検定に向けた取組		(知) 接客技能検定の手順について知り、技術を身に付ける。 (思) 接客技能検定に向けた取組を行う中で、課題に気付き、解決策を考 えることができる。 (学) 接客技能検定に向けた取組に主体的に行おうとする態度を養う。		3
1 学期授業時数					13
2 学期	「校内喫茶をしよう」 ・メニュー決め ・商品開発 ・役割練習 ・接客販売 ・事後学習		(知) 喫茶サービスの意義や役割について理解し、サービス提供に必要な技術 を身に付ける。 (思) より良い喫茶サービスを提供のための課題を見付けたり、工夫について 考えたりすることができる。 (学) より良い喫茶サービスを提供するために自分から考えたり、主体的に行 動したりしようとする態度を養う。	コース学年 学級	10
	「カフェ(ふれあい喫茶)のメニューを検討 しよう」 ・製品作りにおける衛生管理 ・メニューの検討 ・商品開発		(知) 調理における衛生管理について理解し、基本動作を身に付ける。 (思) 栄養・衛生管理に配慮した食事について考えることができる。 (学) 栄養・衛生管理に配慮した食事について、主体的に考えたり、表現し たりしようとする態度を養う。		5
2 学期授業時数					15
3 学期	「校内販売に向けた製品作り」 ・染色・織物・編み物などによる小物製作	①	(知) 手芸の特徴や工程について知り、基礎的な技法を身に付ける。 (思) 良い製品を製作するための課題や工夫について考えたり、表現したりす ることができる。 (学) 手芸の種類と特徴について自分から学び、手芸に関わる製作を主体的・ 協働的に行おうとする態度を養う。	コース学年 学級	7
3 学期授業時数					7
総授業時数					35

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書			
高等部 第2学年 職業コース	流通・サービス科	①流通・サービス「サクッとわかるビジネス教養マーケティング」 (新星出版社)			
目標	<p>(知) 流通・サービスに関することについて理解するとともに、関連する技術を身に付ける。</p> <p>(思) 流通業やサービス業に関わる課題について、社会人としての倫理観を踏まえて解決しようとする力を身に付ける。</p> <p>(学) より良い社会の構築を目指して自分から学び、社会貢献に主体的・協働的に行おうとする態度を養う。</p>				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
1 学期	「清掃の基礎知識と技術を身に付けよう (1)」 ・清掃技能検定に向けた取組(タオル・自在 ぼうき・モップ・ダスタークロスの扱い方)	①	(知) 清掃の正しい手順や方法などを理解し、技術を身に付ける。 (思) 友達と意見を交わしたり、アドバイスを送り合ったりしながら、自分から考えて行うことができる。 (学) 清掃技能検定に向けた取組や清掃業務を主体的・協働的に行おうとする態度を養う。	コース学年 学級	13.5
	「商品管理の基礎知識と技術を身に付けよう (1)」 ・流通・物流技能検定に向けた取組(衛生面 についての確認、野菜の袋詰めと値段付け、 商品陳列(先入れ先出しなど))		(知) 商品の包装や袋詰め、値段付けや運搬・陳列の正しい手順や技術を身に付ける。 (思) 適切な商品の取扱や管理方法について考えることができる。 (学) 流通・物流技能検定に向けた取組や商品管理業務を主体的に行おうとする態度を養う。		6
1学期授業時数					19.5
2 学期	「清掃の基礎知識と技術を身に付けよう (2)」 ・清掃技能検定に向けた取組(タオル・自在 ぼうき・モップ・ダスタークロス・スケー ジーの扱い方)	①	(知) 清掃の正しい手順や方法などを理解し、技術を身に付ける。 (思) 友達と意見を交わしたり、アドバイスを送り合ったりしながら、自分から考えて行うことができる。 (学) 清掃技能検定に向けた取組や清掃業務を主体的・協働的に行おうとする態度を養う。	コース学年 学級	12.5
	「商品管理の基礎知識と技術を身に付けよう (2)」 ・流通・物流技能検定に向けた取組(衛生面 についての確認、野菜の袋詰めと値段付け、 商品陳列(先入れ先出しなど))		(知) 商品の包装や袋詰め、値段付けや運搬・陳列の正しい手順や技術を身に付ける。 (思) 適切な商品の取扱や管理方法について考えることができる。 (学) 流通・物流技能検定に向けた取組や商品管理業務を主体的に行おうとする態度を養う。		4
	「販売の基礎知識と技術を身に付けよう」 ・マーケティング(フードサービス班のパン 販売や自動販売機の商品、校内喫茶のメ ニュー・サービスなどに関する分析や検討)		(知) マーケティングに関する基礎的・基本的な知識や技術を身に付ける。 (思) 顧客のニーズに合わせた商品の販売やサービスの提供をするために、工夫したり、考えたりすることができる。 (学) 調査や分析などの業務を主体的・協働的に行おうとする態度を養う。		6
2学期授業時数					22.5
3 学期	「事務の基礎知識と技術を身に付けよう」 ・道具の扱い方(はさみ、カッターナイフ、 ドライバーなど) ・卒業生へのプレゼント制作		(知) 事務・情報機器を正しく扱い、卒業生へのプレゼントを制作したり、作成したりするために必要な技術を身に付ける。 (思) プレゼントを贈る相手のニーズに合わせて、内容を工夫したり、考えたりすることができる。 (学) 取組に主体的に関わろうとする態度を養う。	コース学年 学級	10.5
3学期授業時数					10.5
総授業時数					52.5

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書			
高等部 第2学年 職業コース	福祉科	①福祉「介護福祉基礎」(実教出版)			
目標	(知)福祉に関わることについて理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 (思)福祉に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ課題を解決しようとする力を身に付ける。 (学)職業人として必要な豊かな人間性を育み、より良い社会の構築を目指して自分から学び、社会貢献に主体的・協働的に行おうとする態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
1 学期	「生活支援の基礎知識と技能を身に付けよう」 ・障害について ・手帳について ・生活支援の基礎 ・生活を支援する場・施設 ・社会人講師による指導	①	(知)障害について知り、日常生活を支援するための技術を身に付ける。 (思)より良い支援を適切に行うための工夫について気付く、考える、表現するなどの行動を取ることができる。 (学)介護を必要とする人等に対して自分から主体的に支援に関わろうとする態度を養う。	コース学年 学級	6.5
1学期授業時数					6.5
2 学期	「生活支援の知識と技能を身に付けよう」 ・移動・移乗 ・食事 ・居住環境整備 ・入浴・清拭 ・睡眠と整容 ・社会人講師による指導	①	(知)障害について知り、日常生活を支援するための技術を身に付ける。 (思)安全で安楽な支援を行うための工夫について気付く、考える、表現するなどの行動を取ることができる。 (学)介護を必要とする人等に対して自分から主体的に支援しようとする態度を養う。	コース学年 学級	7.5
2学期授業時数					7.5
3 学期	「介護を必要とする人を支える支援者について理解を深めよう」 ・支援に関わる専門職 ・支援者の役割と専門性 ・コミュニケーション技術	①	(知)介護を必要とする人を支える支援者に関する理解を深める。 (思)より良い支援を適切に行うための工夫について気付く、考える、表現するなどの行動を取ることができる。 (学)介護を必要とする人等に対して自分から主体的に支援しようとする態度を養う。	コース学年 学級	3.5
3学期授業時数					3.5
総授業時数					17.5

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書		
高等部 第2学年 職業コース	特別活動			
目標	<p>(知) 友達や先輩、後輩と協働して様々な活動を行い、集団での適切な行動の仕方を身に付ける。</p> <p>(思) 集団生活における課題を見いだし、解決するために話し合ったり、意思決定をしたりすることができる。</p> <p>(学) 主体的に集団や社会に参画し、人間関係をより良く形成したり、自己実現を図ろうとしたりする態度を養う。</p>			
期	単元名・指導内容	単元目標	授業形態	時数
1 学 期	「学級組織作り(1)」 ・学級組織作り ・係分担 ・1学期の行事・取組を知る。 ・1学期の目標決め ・掲示物の制作	(知) 新しい友達や1学期の取組内容と学級や学校生活の充実に向けて、自分の目標や学級での役割について知ることができる。 (思) 学級や学校生活をスムーズに行うために、話し合いて自分の意見を表現したり、友達の意見を聞いたりしながら、課題解決に向けて取り組むことができる。 (学) 学級や学校生活における人間関係をより良く形成し、友達と協働しながら行おうとする態度を養う。	学級	3
	「学部集会(生徒会活動)(1)」 ・新入生歓迎会	(知) 生徒会が主催する活動の目的を理解し、集団の形成者としての行動を身に付ける。 (思) 生徒会が主催する活動に対して計画や課題解決に向けて話し合うことができる。 (学) 集団の形成者としての自覚をもち、友達や先輩、後輩と協働して学校生活の充実のために参画しようとする態度を養う。	学部 学級	1
	「校外学習の取組(1)」【校外学習】 ・校外学習の計画 ・校外学習の実施	(知) 課題解決に向けて話し合いを進めることを通して、他者理解を深め、コミュニケーションの取り方について理解することができる。 (思) 他者理解を深めることを通して、人間関係の特質や相手や状況に応じてコミュニケーションを取る方法について判断し、行動することができる。 (学) 集団や相手に応じた行動の仕方や円滑な人間関係の形成を身に付けようとする態度を養う。	コース全体 学級	4
	「ホームルームでの取組(1)」 ・学級活動の計画 ・学級活動の実施	(知) 学級における諸問題について、友達と協働して解決する大切さを理解し、解決方法を知ることができる。 (思) 学級における諸問題について、話し合いて自分の意見を表現したり、友達の意見を聞いたりしながら、解決に向けて取り組むことができる。 (学) 学級における人間関係をより良く形成し、友達と協働しながら行おうとする態度を養う。	学級	3
	「1学期の振り返りと夏休みの生活」	(知) 集団の中で自分の役割や自分の目標の実現に向けて取り組む意義を理解することができる。 (思) 自分の役割や目標に向けた課題を見いだし、課題解決に向けた取組について考えることができる。 (学) 自分の現在の生活や学習への取組について振り返り、自立へ向けて自己実現を図ろうとする態度を養う。	コース学年 学級	2
1学期授業時数				13
2 学 期	「学級組織作り(2)」 ・学級組織作り ・係分担 ・2学期の行事・取組を知る。 ・2学期の目標決め ・掲示物の制作	(知) 2学期の取組内容と学級や学校生活の充実に向けて、自分の目標や学級での役割について知ることができる。 (思) 学級や学校生活をスムーズに行うために、話し合いて自分の意見を表現したり、友達の意見を聞いたりしながら、課題解決に向けて取り組むことができる。 (学) 学級や学校生活における人間関係をより良く形成し、友達と協働しながら行おうとする態度を養う。	学級	1
	「ホームルームでの取組(2)」 ・学級活動の計画 ・学級活動の実施	(知) 学級における諸問題について、友達と協働して解決する大切さを理解し、解決方法を知ることができる。 (思) 学級における諸問題について、話し合いて自分の意見を表現したり、友達の意見を聞いたりしながら、解決に向けて取り組むことができる。 (学) 学級における人間関係をより良く形成し、友達と協働しながら行おうとする態度を養う。		5
	「校外学習の取組(2)」【校外学習】 ・校外学習の計画 ・校外学習の実施	(知) 課題解決に向けて話し合いを進めることを通して、他者理解を深め、コミュニケーションの取り方について理解することができる。 (思) 他者理解を深めることを通して、人間関係の特質や相手や状況に応じてコミュニケーションを取る方法について判断し、行動することができる。 (学) 集団や相手に応じた行動の仕方や円滑な人間関係の形成を身に付けようとする態度を養う。	コース学年 学級	7
	「2学期の振り返りと冬休みの生活」	(知) 集団の中で自分の役割や自分の目標の実現に向けて取り組む意義を理解することができる。 (思) 自分の役割や目標に向けた課題を見いだし、課題解決に向けた取組について考えることができる。 (学) 自分の現在の生活や学習への取組について振り返り、自立へ向けて自己実現を図ろうとする態度を養う。		2
2学期授業時数				15
3 学 期	「学級組織作り(3)」 ・学級組織作り ・係分担 ・3学期の行事・取組を知る。 ・3学期の目標決め ・掲示物の制作	(知) 3学期の取組内容と学級や学校生活の充実に向けて、自分の目標や学級での役割について知ることができる。 (思) 学級や学校生活をスムーズに行うために、話し合いて自分の意見を表現したり、友達の意見を聞いたりしながら、課題解決に向けて取り組むことができる。 (学) 学級や学校生活における人間関係をより良く形成し、友達と協働しながら行おうとする態度を養う。	学級	1
	「生徒会選挙の取組」 ・立候補者演説 ・投票の仕方を知る。 ・投票 ・開票 ・委任状渡し	(知) 学校生活の充実や向上のために、生徒の総意によって生徒会の組織作りを行うという生徒会選挙の目的と投票の仕方について理解することができる。 (思) 生徒会選挙の目的を理解し、立候補者の意見を聞きながら、自分から判断して投票を行うことができる。 (学) 集団の形成者として、積極的な学校生活の充実と向上に参画しようとする態度を養う。	学部 学級	2
	「学部集会(生徒会活動)(2)」 ・3年生を送る会	(知) 生徒会が主催する活動の目的を理解し、集団の形成者としての行動を身に付ける。 (思) 生徒会が主催する活動に対して計画や課題解決に向けて話し合うことができる。 (学) 集団の形成者としての自覚をもち、友達や先輩、後輩と協働して学校生活の充実のために参画しようとする態度を養う。		1
	「ホームルームでの取組(3)」 ・学級活動の計画 ・学級活動の実施	(知) 学級における諸問題について、友達と協働して解決する大切さを理解し、解決方法を知ることができる。 (思) 学級における諸問題について、話し合いて自分の意見を表現したり、友達の意見を聞いたりしながら、解決に向けて取り組むことができる。 (学) 学級における人間関係をより良く形成し、友達と協働しながら行おうとする態度を養う。	学級	1
	「1年間の振り返りと春休みの生活」	(知) 集団の中で自分の役割や自分の目標の実現に向けて取り組む意義を理解することができる。 (思) 自分の役割や目標に向けた課題を見いだし、課題解決に向けた取組について考えることができる。 (学) 自分の現在の生活や学習への取組について振り返り、自立へ向けて自己実現を図ろうとする態度を養う。	コース学年 学級	2
3学期授業時数				7
総授業時数				35

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書		
高等部 第2学年 職業コース	総合的な探究の時間			
目標	<p>(知) 実生活と自己の関わりから課題を見付けたり、解決したりするために必要な知識や技能を身に付ける。</p> <p>(思) 課題を解決していくために必要な情報を集め、整理・分析したり、まとめたりして表現することができる。</p> <p>(学) 課題の解決に向けて主体的・協働的に活動し、より良い社会を実現しようとする態度を養う。</p>			
期	単元名・指導内容	単元目標	授業形態	時数
1 学期	「ボランティア活動しよう(1)」【校外学習】 ・地域清掃	(知) 学校や地域にある課題を見付け、学校や地域のためにできることについて考えたり、活動したりすることができる。 (思) より良い活動にするために意見を伝える、情報を収集・分析する、改善案を考えるなどの活動を行うことができる。 (学) 課題解決に向けて主体的・協働的に活動し、充実した活動にしようとする態度を養う。	コース全体 コース学年 学級	3
	「平和について考える」 ・オリエンテーション ・平和集会に向けた取組 ・平和集会	(知) 「平和」の意味や生活の中にある「平和」について考えたり、平和都市広島で生活する人間として、どのような平和の発信ができるかについて考えたりすることができる。 (思) 情報機器を使用して自分から調べたり、情報を取捨選択したりしながら、自分の意見をまとめたり、発表したりすることができる。 (学) 課題解決に取り組み、周囲へ発信したり、友達と一緒に活動したりすることを通して、友達や社会とのより良い関係を作ろうとする態度を養う。		7
	「修学旅行の取組(1)」 ・オリエンテーション ・役割分担 ・目標決め ・係会	(知) 修学旅行の活動先や地域について理解することができる。 (思) 修学旅行の活動先や地域について、情報機器を使って調べたり、まとめたりして、表現することができる。 (学) 修学旅行に期待感をもち、意欲的に活動しようとする態度を養う。	学年 コース学年 学級	3
1 学期授業時数				13
2 学期	「修学旅行の取組(2)」 ・係会 ・しおり作成 ・見学地調べ ・活動計画 ・マナーの学習 ・結団式 ・事後学習	(知) 修学旅行の活動先や地域について理解することができる。 (思) 修学旅行の活動先や地域について、情報機器を使って調べたり、まとめたりして、表現することができる。 (学) 修学旅行に期待感をもち、意欲的に活動しようとする態度を養う。	学年 コース学年 学級	12
	「ボランティア活動しよう(2)」【校外学習】 ・地域清掃	(知) 学校や地域にある課題を見付け、学校や地域のためにできることについて考えたり、活動したりすることができる。 (思) より良い活動にするために意見を伝える、情報を収集・分析する、改善案を考えるなどの活動を行うことができる。 (学) 課題解決に向けて主体的・協働的に活動し、充実した活動にしようとする態度を養う。	コース全体 コース学年 学級	3
2 学期授業時数				15
3 学期	「ボランティア活動しよう(3)」【校外学習】 ・地域清掃	(知) 学校や地域にある課題を見付け、学校や地域のためにできることについて考えたり、活動したりすることができる。 (思) より良い活動にするために意見を伝える、情報を収集・分析する、改善案を考えるなどの活動を行うことができる。 (学) 課題解決に向けて主体的・協働的に活動し、充実した活動にしようとする態度を養う。	コース全体 コース学年 学級	3
	「職業コース3年生を送る会」【校外学習】 ・オリエンテーション ・会に向けた準備 ・ありがとうの会 ・お別れ会	(知) 在校生としての立場や、送る会に向けた取組における自分の役割・活動内容を理解して行動することができる。 (思) 準備を進めながら、より良い活動のための意見を伝えたり、話し合ったりすることができる。 (学) 卒業生に対するお祝いや感謝の気持ちをもち、伝えようとする態度を養う。		4
3 学期授業時数				7
総授業時数				35